

お 知 ら せ

件名 牧尾ダムに係る節水対策の開始について

木曾川流域では、5月以降の降雨が例年を大きく下回っており、河川流量が減少しています。

愛知用水受益地の中間に位置する東郷調整池（愛知池）の観測雨量が5月は61mm（平年の42%）、6月は97mm（平年の53%）と極めて少ないことから、牧尾ダム（長野県木曾郡王滝村・木曾町）は関係利水者に対し都市用水、農業用水の必要量をダムから補給し続けており、6月28日までの総補給量は約70,828千 m^3 となっています。

このため、牧尾ダムの貯水量は6月29日0時に28,115千 m^3 まで減少しており、有効貯水量（68,000千 m^3 ）の約41%となっています。

今後、まとまった降雨がなければ、更に厳しい状況が予想されます。

本日（6月29日）開催した独立行政法人水資源機構と愛知用水関係利水者で組織する愛知用水節水対策委員会において、愛知用水の水源である牧尾ダムに係る節水対策の実施について、次のとおり決定しました。

牧尾ダムに係る節水対策

- ①節水開始日時：平成29年6月30日（金）午前0時から
- ②節水率：農業用水10%、水道用水5%、工業用水10%
- ③節水対象者：可児土地改良区、入鹿用水土地改良区、
愛知用水土地改良区、可児市、岐阜県都市建築部、
愛知県企業庁